

2009年7月2日

全国大学国語教育学会
2009年度 学会通信 第1号

全国大学国語教育学会事務局

理事長 吉田裕久

梅雨の候、学会員の皆様にはご健勝のことと存じます。

先日開催されました第116回秋田大会は、大会事務局のご尽力と学会員皆様のご協力をおもちゃして、盛会のうちに終えることができました。改めて感謝申し上げます。

今年度も、2回の大会開催および学会誌発行を基軸としながら、学会編集の出版物を続けて刊行するなど、充実した年となりそうです。

会員皆様の研究活動のご発展をお祈りいたします。

◆第116回秋田大会 2009年度第1回総会議事録

全国大学国語教育学会事務局

中洩正堯常任理事の進行で、慣例により前回大会開催校山元悦子理事（福岡教育大学）を議長として選出し、総会を開催した。

議事の審議に先立ち、秋田大会実行委員長阿部昇理事（秋田大学）より、あいさつと開催状況の報告があった。前日に公開講座が開催されたこと、事前・当日申し込み合わせて会員約250名、秋田県内非会員約60名、合計約310名の参加者があったことが述べられた。

I. 議事

1. 2008年度事業報告

吉田裕久理事長（広島大学）より、口頭で下記の件について報告があり、承認された。

- ・大会開催2回
- ・学会誌の刊行2回

2. 2008年度会計報告・監査報告（資料あり）

吉田理事長より、資料に基づいて2008年度会計報告について説明が行われた。特に、使用額が予算より少ないことについて、会議費および事務局経費が大きく抑えられたことによるという説明があった。続いて、監査の上谷順三郎氏（鹿児島大学）から適正に処理されている旨報告があり、承認された。

3・4. 2009年度事業計画・2009年度予算審議（資料あり）

吉田理事長から、口頭で、おおよそ例年通り下記の二つの事業を中心に学会活動を行うことが説明された。

- ・2回の大会開催。

- ・ 2回の学会誌刊行。

併せて、資料に基づき、予算案の提案がなされた。特に、次の点について、詳しい説明がなされた。

- ・ 繰越金の金額が多いことについて、その背景（学会事務センターの倒産による損失等を補うため節約するとともに、これまで会計的な危機管理を優先してきた）と、今後の対応（常任理事会で対応策の協議を行っている）。
- ・ 大会補助費の増額については、事務局への補助、参加費への補助（参加費を当面 3,000円にする）の増額に充てること。
- ・ 学会誌刊行費の増額については、ページ増等を見越したものであること。
- ・ 業務委託費については、事務局移転を見越して項目を復活するとともに、今年度はホームページ作成費、事務局保存資料の電子化のための費用を計上すること。
- ・ 定期事業費は、来年度実施する選挙のための支出項目であること（したがって、今年度は計上しない）。
- ・ 重点事業費の増額については、英文ホームページ作成費と、学会刊行図書『国語科教育実践・必携』の出版補助として1,500,000円を計上したことによること。

以上の事業計画と予算案について、併せて承認された。

5. 今後の大会開催について

吉田理事長から、2011年度以降の開催校として、京都教育大学、高知大学、富山大学、弘前大学に内諾を得ている旨、報告があった。その後、第117回愛媛大会（2009年10月17日（土）、18日（日）愛媛大学）について三浦和尚理事（愛媛大学）、第118回東京大会（2010年5月29日（土）、30日（日）東京学芸大学）について大熊徹理事（東京学芸大学）、第119回鳴門大会（2010年10月30日（土）、31日（日）鳴門教育大学）について余郷裕次氏・村井万里子理事（鳴門教育大学）から、それぞれ開催日程等について報告があり、全て承認された。

6. 『国語科教育』第66集編集状況等について

大内善一編集長（茨城大学）から、投稿論文26編中、採択が8編（研究論文7編、資料1編含む）であったこと、パネルディスカッション要旨の掲載、書評の掲載（対象図書5冊、新たに対象となった3冊については第67集に掲載）について報告がなされた。また、常任理事会から編集委員会に検討依頼のあった、1）掲載論文のページ増（2頁）については総会で議論した上で次回編集委員会で決定する、2）抜き刷り作成については本誌10部贈呈（パネルディスカッションは3部ずつ）という結論を出したことの報告があった。

これらのうち、第66集の編集および検討事項2）については承認された。検討事項1）については、意見があれば大内編集委員長に直接メール(zohuchi@mx.ibaraki.ac.jp)等で連絡することとなった。

7. 会則の改正について（資料あり）

資料に基づいて、吉田理事長から、開かれた学会という方針にしたがい、第4条会員資格条項の条文改正の提案が行われ、承認された（変更後の条文は以下の通り）。

(変更後) 第4条

本会の会員は、大学の国語教育講座に関係ある教員、附属学校教員、および本会の趣旨に賛成する者とする。また本会のために特に貢献した会員で本会から推薦された者を顧問または名誉会員とすることができる。

(変更前)

……本会の趣旨に賛成し、本会会員から推薦された者……

8. その他

特になし。

II. 報告

1. 研究部門

塚田泰彦常任理事（筑波大学）より、下記の点について報告があった。

- ・ 課題研究『国語学力調査の意義と問題』の出版についての編集状況。
- ・ 今大会から、新しい課題研究「国語科教師の力量形成」が始まったこと。
- ・ 公開講座「授業研究」は今回をもって2回終了し、次回は「教科書研究」というテーマで開催されること（なお、公開講座については開催期日を含めて研究部門で再協議する）。

2. 広報部門

松山雅子常任理事（大阪教育大学）より、学会英文ホームページの作成について、『国語科教育』第1集から第60集の総目次を英文化する計画の報告があった。

3. テキスト委員会

世羅博昭常任理事（四国大学）より、『国語科教育実践・研究必携』の刊行、『新たな時代を拓く 小学校国語科教育研究』の刊行・増刷、『新たな時代を拓く 中学校・高等学校国語科教育研究』の編集状況について報告があった。

4. 文化審議会国語分科会「新常用漢字表（仮称）」パブリックコメントについて

吉田理事長から、募集の経緯、結果がホームページに掲載されたことについて報告がなされた。

5. その他

特になし。

以上

◆第117回愛媛大会のご案内（第1次）

愛媛大会実行委員長・三浦和尚（愛媛大学）

■第117回大会は、2009年10月17日（土）、18日（日）に愛媛大学城北キャンパス（松山市文京町3番）にて行われます（編集委員会、常任理事会は、前日の10月16日（金）愛媛大学教育学部にて行います）。

■学会参加については、事前申し込みとなります。

(JTB松山支店より参加申込書等が、学会員に郵送されます。)

■大会2日間の概要(予定)

会場：愛媛大学共通教育棟・教育学部棟(2日間とも)

<第1日目 10月17日(土)>

午 前：自由研究発表

昼 ：理事会

午 後：総会

パネルディスカッション：テーマ「短詩型の創作指導の意義と方法」

懇親会

<第2日目 10月18日(日)>

午 前：課題研究発表：テーマ「国語科教師の実践的力量をどう育むか(2)」

午 後：自由研究発表

公開講座：テーマ「国語教科書研究の方法」(自由研究発表との同時開催)

◆第117回 愛媛大会・自由研究発表者の募集について

愛媛大会実行委員長・三浦和尚(愛媛大学)

1. 募集区分

自由研究発表

2. 発表等の申し込み手順

(1) 往復はがきに次の事項をご記入の上、お願いいたします。

①発表区分 自由研究発表

②発表題目(申し込み後の変更は不可)

③氏名(ふりがなを必ずつける)

④所属(職名, 電話番号, メールアドレス)

⑤住所, 電話番号, 緊急時連絡先(携帯電話)

⑥プロジェクト使用の有無(パソコンは発表者持ち込みとなります。プロジェクトは大学備えつけのものとなりますが、パソコンとの相性がありますので、発表者が持ち込むことも可とします。なお、準備時間も発表時間に含みます。)

*返信はがきに、自分宛の郵便番号、住所、氏名を必ず記入して下さい。

(2) 申し込み先(愛媛大会事務局)

〒790-8577 松山市文京町3番

愛媛大学教育学部 国語教育講座 中西 淳 研究室宛

(3) 発表申し込み締め切り

7月31日(金) 必着

*締め切り後は受け付けません。また、発表日のご指定もご遠慮ください。

(4) 発表要旨集の原稿締め切り

8月28日(金) 必着

*締め切り後のものについては要旨集が白紙となります。

(5) 大会全般についての問い合わせ先(できるだけメールにてお問い合わせください。)

三浦 和尚 (研究室)

T E L & F A X : 089(927)9403

メール : miura@ed.ehime-u.ac.jp

中西 淳 (研究室)

T E L & F A X : 089(927)9404

メール : nakanisi@ed.ehime-u.ac.jp

◆公開講座開催のご案内

研究部門：吉田裕久

■第117回愛媛大会にあわせて、下記の要領で第3回公開講座(テーマ：国語教科書研究の方法)を開催いたします。会員、非会員を問わず参加が可能です。奮ってご参加ください。

■第3回公開講座(予定)

- 1 テーマ 国語教科書研究の方法
- 2 指定討論者 府川源一郎(横浜国立大学) 牛山恵(都留文科大学)
甲斐雄一郎(筑波大学)
- 3 日時 2009年10月16日(金) 13時~16時(愛媛大会、第2日目午後)
- 4 会場 愛媛大学内・メディアホール
- 5 参加対象 学会員および参加希望者 ※公開講座のため参加費無料

◆『国語科教育』第67集 投稿募集について

第67集 編集委員長 藤森裕治

下記の要領により、『国語科教育』第67集の原稿を募集いたします。

なお、募集要領は学会ホームページにも記載されております。

1. 投稿論文は、2009年8月1日（土）から8月31日（月）（消印有効）までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。

〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号
広島大学大学院教育学研究科国語文化教育教育学講座内
全国大学国語教育学会事務局
3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。
4. 原稿は、4部（コピー可）送付してください。
 - (1) そのうちの1部には、題名のあとに氏名を記し、論文の最末尾に（ ）をつけて所属を、行をかえて原稿発送年月日を、それぞれ1行ずつ取って記してください。

また、その論文の前に、氏名・所属・連絡先を明記した用紙を添付してください。
 - (2) あとの3部については、氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないでください。
5. 原稿は、原則としてワープロまたはパソコンで打ち出し、フロッピーを添えて送ってください。その際、フロッピーに機種名・ソフト名を書き添えてください。(例：「一太郎2007」)
6. 原稿は未発表のものに限ります。ただし、口頭発表やプリント類の場合は、この限りではありません。
7. 募集の枠を「研究論文」「実践論文」「資料」の三つとしますので、どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記しておいてください。

ただし、投稿論文の採択の枠付けについては、編集委員会におまかせください。
8. 図表などの類は、本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示してください。

なお、縮小する場合は、読者が判読できないなどということがないように、8割以上の縮小率で収めてください。また、「注」は本文と同じ書式でそろえてください。

付記

- (1) 紀要のテンプレートが学会ホームページにあります。次のURLのリンク「テンプレート集」から参照してください。 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/nace/>
- (2) 引用文献、参考文献は、原稿末尾に「注」で明記してください。
- (3) 原稿の返却はいたしません。控えをとっておいてください。
- (4) 原稿の郵送は、書留をお願いします。
- (5) 連続掲載は、原則として2回までとなっています。

<参考> 『国語科教育』投稿要領

- 1 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りでない。
- 2 論文原稿は、縦書きまたは横書きで原則としてワープロを使用する。
- 3 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚（8ページ分）以内とし、1ページあたりの字数・行数を次の

ようにする。

(1)横書きの場合

23 字×44 行×2 段（1 ページ 2,024 字，ただし最初の 1 ページは，題目・氏名のスペースとして 7 行 2 段をとる。）

(2)縦書きの場合

33 字×31 行×2 段（1 ページ 2,046 字，ただし最初の 1 ページは，題目・氏名のスペースとして 7 行 2 段をとる。）

*引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし，図表についてはこの限りではない。

4 論文原稿は 4 部（複写でよい）送付するものとする。原稿は原則として返却しない。

5 原稿は，氏名，所属，連絡先を付記し，全国大学国語教育学会事務局に送付するものとする。

6 投稿論文は，上期においては 8 月 1 日から 8 月 31 日までの期間，下期においては 3 月 1 日から 3 月 31 日までの期間に受け付けるものとする。

◆事務局からのお知らせ

■2009 年度のおおよその学会活動予定

- 5 月 学会誌送付および会費納入
『国語科教育実践・研究必携』刊行
- 5 月 30 日・31 日 第 116 回秋田大会
- 6 月末 「学会通信」第 1 号発行（今号）
- 8 月末 『国語科教育』第 67 集原稿募集締め切り
「学会通信」第 2 号発行
- 9 月末 『国語科教育』第 66 集発行
- 10 月 17 日・18 日 第 117 回愛媛大会（編集委員会 16 日，常任理事会 16 日，理事会・総会 17 日）
- 1 月末 「学会通信」第 3 号発行
- 3 月末 『国語科教育』第 68 集原稿締め切り
『国語科教育』第 67 集発行

全国大学国語教育学会編『国語科教育実践・研究必携』（学芸図書）が刊行されました。本学会からの補助により，定価 2730 円とお求めやすくなっています。是非ご購入下さい。

◆学会費納入のお願い

過日、会費の納入をお願いいたしました。多くの方にお払い込みいただき、ありがとうございました。まだ、お振り込みいただけていない方は、5月にお送りした封筒の宛名ラベルの請求額をご覧ください、会費の納入をお願いいたします。

学会規約にしたがい、学会費未納3年以上の方は、会員資格を失うという措置をとらせていただいております。また、学会誌の発送は、来年度未納の場合、翌年度より停止いたします。

学会の運営は会費によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

<口座番号>

郵便振替口座番号 01370-4-70223

加入者名 全国大学国語教育学会

◆新入会員のお知らせ

秋田大会の常任理事会で承認された新入会員の方々をご紹介します（一覧表をご参照ください）。

*個人情報保護のためPDF版では削除してあります。

以上

